2025年12月30日

令和６年度　農村RMO
第１回田んぼあぜ道軽トラ市 in 下塚田
報告書

下塚田ふるさと応援隊

- 事業名：第１回 田んぼあぜ道軽トラ市 in 下塚田
- イベント開催日：2025年12月21日（日）　10：00～14：00
- 開催場所：宮崎県日南市下塚田地区 田んぼあぜ道（約350m）
- 集客総数：1,890名（商品交換券発行枚数より）
- 開催規模：軽トラック等 約50台出店（農産物・加工品・木工品・飲食・キッチンカー等）

１．事業概要

- 事業名：第１回 田んぼあぜ道軽トラ市 in 下塚田
- イベント開催日：2025年12月21日（日）　10：00～14：00
- 開催場所：宮崎県日南市下塚田地区 田んぼあぜ道（約350m）
- 集客総数：1,890名（商品交換券発行枚数より）
- 開催規模：軽トラック等 約50台出店（農産物・加工品・木工品・飲食・キッチンカー等）

２．来場者数・集客状況

- 地元住民に加え、市内外からの来場者があり、報道では「約1000人が訪れた」旨が報じられている。
- 各種報道・記事・SNSでは、「あぜ道に買い物客が続々」「多くの人でにぎわった」など、盛況ぶりを示す表現が多く見られる。

３．外部メディアによる評価・紹介

- テレビ報道（UMK、MRT、日南テレビ等）では、
  - 「山あいののどかな田園に軽トラック約50台が並び、あぜ道が商店街になった」
  - 「田んぼあぜ道に1000人」といった表現で、田園景観を生かしたユニークな試みとして紹介されている。
- 共同通信系記事（47NEWS・Yahoo!ニュース）では、「あぜ道に買い物客続々」「軽トラ市盛況」として、地域の特産柑橘類や農産物が並ぶ様子とともに、イベントの成功が強調されている。
- 日本自動車工業会の軽トラ市紹介ページでは、「下塚田ふるさと応援隊が初の試みとして開催」「マイヤーレモン（日南レモン）をメインとした地域の農産物やキッ

チンカーが集まる軽トラ市」とされ、地域資源を活用した先進的事例として位置づけられている。

4．参加者・来場者からの反応

- テレビインタビューやSNS投稿では、
  - 「最高です。あぜ道で、田舎の風情があってすごく良かった」
  - 「採れたての野菜や柑橘類が値打ち価格で買えた」
    などの声が紹介され、景観・雰囲気・価格面を含めた満足度が高いことがうかがえる。
- 主催者コメントとして、「対面販売で安心して購入できる」「生産者はお客様の喜ぶ顔を見ることで生産意欲が高まる」といった発言があり、生産者・消費者双方にとって意義のある場となっている。

5．地域資源活用・希少性

- 主会場を「田んぼのあぜ道」とした点が全国的にも珍しく、自然景観と販売空間が一体となったイベントとして評価されている。
- 地域特産である日南レモン（マイヤーレモン）や柑橘類、地元産野菜、加工品などを一体的に発信することで、地域農業のブランド力向上と販路拡大の契機となっている。

6．課題と今後の展開（記載例）

- 初開催としては集客・話題性ともに高い評価を得た一方で、駐車場・交通誘導・トイレ等の受入体制、悪天候時の対応など、継続開催に向けた検討事項も残る。
- 外部メディア・SNSでの発信効果が大きかったことから、次年度以降は広報計画をあらかじめ設計し、他地域からの誘客や関係人口の拡大にもつなげていく余地がある。